

「国土交通省 公共事業コスト構造改革プログラム」

【 施策名： (2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 【3】 管理の見直し 】

解析モデルの高度化による耐震補強の合理化

工事名：大鳴門橋耐震補強工事

概要：大鳴門橋の桁と塔の接続構造、及び単経間トラス部（バックステイ径間）の補強において、実構造を忠実に再現したモデルを作成し、対象部位の部材の強度を正確に評価する解析を行った結果、補強が不要と判定されコスト縮減が図れました。

効果：実構造の正確なモデル化と変形など、応答値の適切な評価により補強が一部不要になった。

■ **縮減額 103百万円**

